

BS-IF MUSE/NTSC CN比測定器 KTV-672

BS-IF MUSE/NTSC CN比測定器KTV-672は、ハイビジョン放送波（MUSE信号）および通常の衛星放送（NTSC信号）の、CN比と信号レベルの測定が正確で迅速に行える測定器で、特に、ハイビジョン受信機用検査装置のCN比測定器として、また、MUSE信号とNTSC信号の測定が自動切換えできるため、ハイビジョン受信システム、再送信システムが、通常の衛星放送システムの診断および保守工事などに優れた性能を発揮します。



■特 長

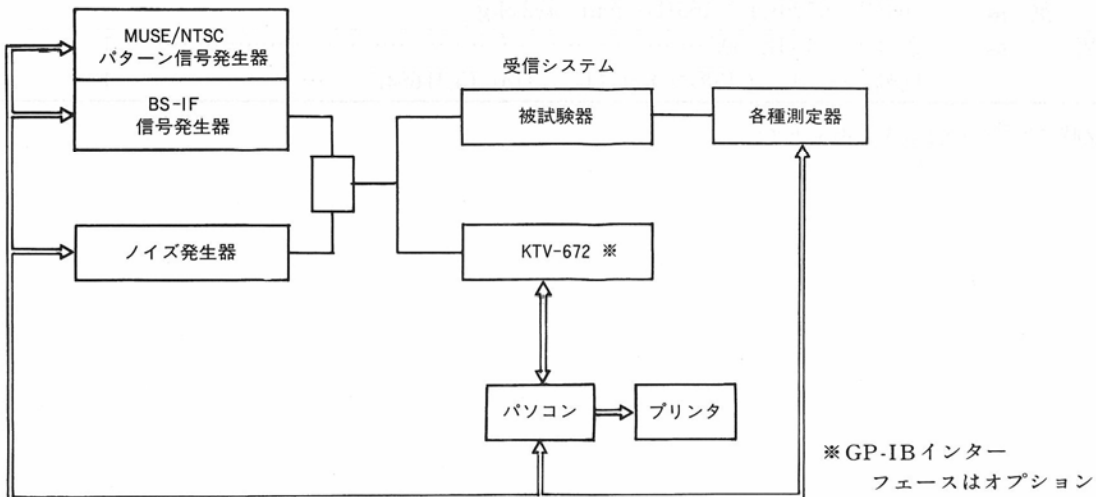
- BSコンバータの出力信号（BS-IF 1～15ch）を、チャンネルの設定により測定します。
- MUSE信号とNTSC信号の測定が、自動切換えでできます。
- CN比の測定範囲は、MUSE信号、NTSC信号ともに5～30dBです。
- レベル比とCN比の値は、メータ出力端子より直流電圧（0～5V）として出力します。記録計を接続することにより記録ができますので、連続測定などに便利です。
- モニタ出力により、測定中でもBSチューナに信号を送ることができますので、測定と同時に画像の評価ができます。
- 本器の内部電源を、BSコンバータに供給することができます。
- BSコンバータに電源を供給中に誤って入力端子をショートしても、本器のオーバーロードオフ機能により給電を自動停止します。
- AFCにより、常に安定した受信状態が得られます。
- 小形・軽量でショルダータイプのため、移動測定に便利です。

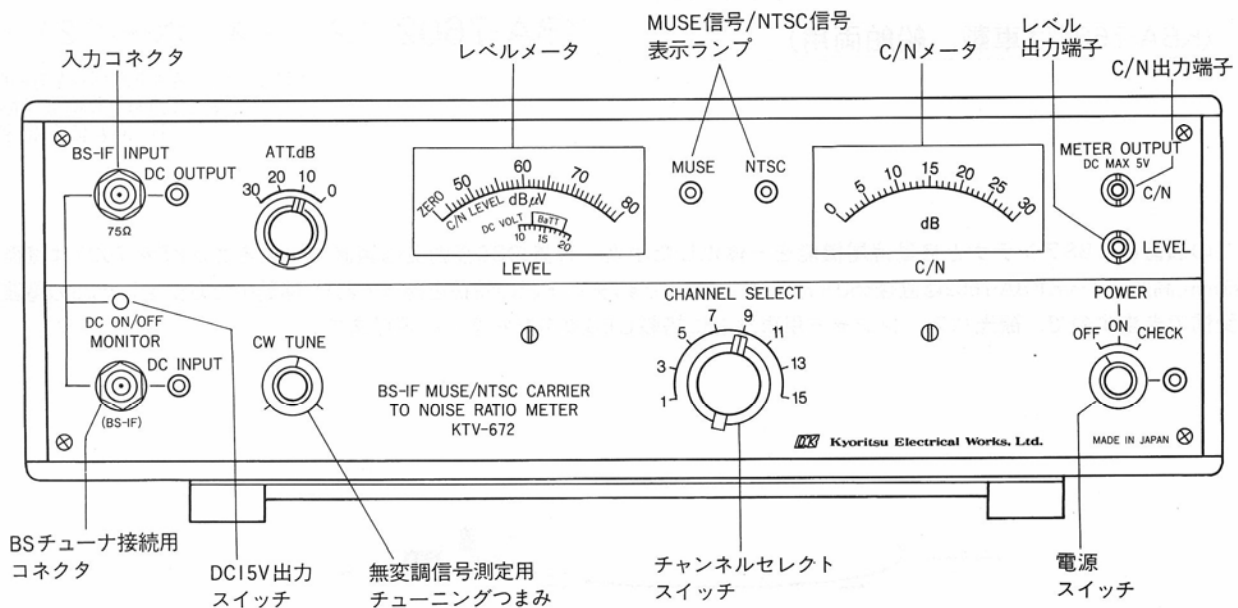
■用 途

- ハイビジョン（MUSE）関連機器の性能試験。
- BSアンテナ、コンバータ、チューナーの性能試験。
- BSブースタ、アンプなどCATV関連部品の性能試験、品質管理試験。

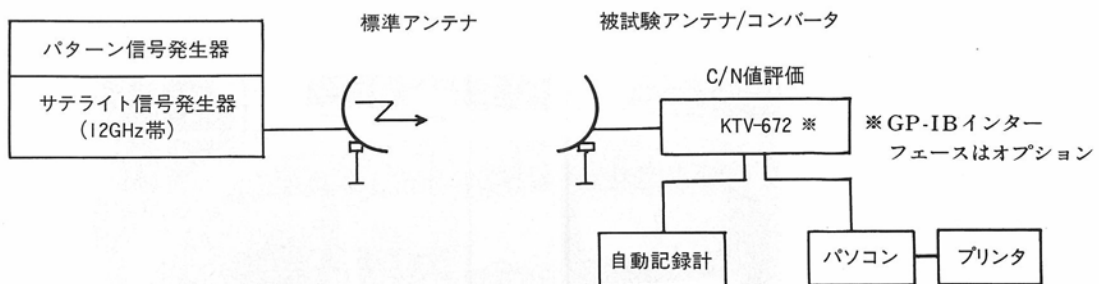
■受信システムの性能試験（例）

試験信号のCN比をあらかじめKTV-672で確認し、その信号を受信システムに入れて性能を試験する。

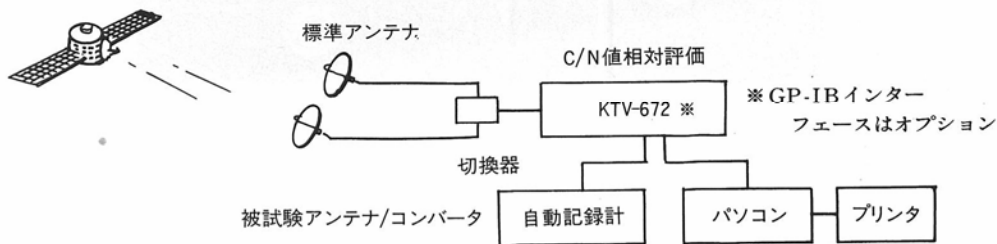




■信号発生器によるアンテナの試験例



■衛星放送によるアンテナの試験例



■規 格

受信周波数	BS-IF 1~15ch (日本割当の奇数チャンネル)
測定範囲	CN比 5 ~ 30 dB (帯域幅27MHz相当値) レベル 45~110dB (1μV = 0 dB, 75Ω終端値)
測定精度	CN比 5 ~ 25 dB ±0.5dB (入力レベル60dBμV以上において) 25 ~ 30 dB ±1.5dB (入力レベル60dBμV以上において) レベル ±2 dB以内
入力インピーダンス	BS-IF 75Ω (C15形コネクタ)
電源	SUM-2×12個 DC15V 外部電源端子
寸法・重量	315(W)×100(H)×256(D) mm、約 4.5 kg
付属品	収容ケース KBG-672 1 ACアダプタ KPS-005 1
応用部品 (別売)	同軸ケーブル (C15形コネクタ付 1.5m) KCB-603F 1 GP-IBインターフェース 1